

地方公務員 種田 昌克  
(岐阜県大垣市 38)

1年ほど前、引越したついでに読まない本を実家の離れ2階に押し込んだ。猫の絵が描かれた宅配便の段ボールが実に百。それから部屋は開かずの間になった。

先日、本を取りに戻り、部屋のドアを開けた。その瞬間、猫が飛びかかり走り去った。どこからか入って、住みついていたのであると思う、箱を開けた。  
驚いた。手のひらにの

るような子猫が4匹。さては、ここで子を産んだのか。飛びかかってきたわけが分かった。だが、困った。呼べば戻ってくる親猫ではない。

### 野良猫だって 子は見捨てぬ

とりあえず、現状のままにしておくことにした。翌朝、箱の中の子猫は1匹になつていた。親が迎えに来たらしい。しかし、残された1匹は心細そうだ。ストローでミルクをやった。そして次の朝、

段ボール箱は空になっていた。

ちゃんとわが子を迎えて来たのだ。少し感動した。夜中のうちに1匹ずつ口にくわえ、どこかへ運ぶ姿が目につかんだ。

熊本市の病院が設置した「赤ちゃんポスト」に初年度、17の子が預けられたという。つらい思いをして預けた親もいるだろう。しかし、あくまで緊急避難的な施設だ。いつか赤ちゃんを迎えに来ることを願っている。